

いづな遺跡発掘メモ 12

常設展示の炉・カマドの製作バナシ 3



下地塗りと土器設置穴を施したカマド

カマドの天辺に土器を乗せる穴もあけて、ラッカーで下地塗りをしました。乾いた後はいよいよ土をかける作業に入ります。この土かけ作業が思いのほか大変で、作業中の写真もすっかり撮り忘れるほどでした。スプレーのりをかけたところに間髪入れず2～3人がかりで土を振りかけます。スピード命の短期勝負！これが1度ではなかなかうまく乗らず、何度も重ねづけしました。土台になる部分もスチロパールで作り、カマドとは違う色にするために炭を混ぜるなど工夫しました。



完成した平安のカマド(左)と縄文の炉(右)です。周りに甕や食器なども置いて当時の生活感や出土状況を演出

そしてようやく設置に至りました！製作期間約4カ月。職員たちの渾身の炉・カマドを歴史ふれあい館でご覧ください。ぜひ細部まで見ていただければ嬉しいです。

いづな遺跡発掘メモ 12
(令和7年6月26日発行)
教育委員会生涯学習係 担当：福井
Tel：026-253-6646
Fax：026-253-6649
Mail：gakushu@town.iizuna.nagano.jp
HP：http://www.town.iizuna.nagano.jp/